



学校だより

後 川

No. 20

令和2年12月25日(金)発行
四万十市立後川中学校

2学期も一致団結 全力投球！

8月25日に始まった2学期が本日で終了します。酷暑で始まり、寒冷で終わる今学期、皆さんにとっては、どんな2学期だったでしょうか。2学期も新型コロナウイルスの影響で、これまでとは異なり「特別な学期」でした。運動会をはじめ、霜月祭、マラソン大会、修学旅行など大きな行事がたくさんあり、「ウイズ コロナ」を意識して、計画や準備、運営に大忙しでした。どの行事を行うにも、全員が一致団結し、協力し合いどの行事も、見事やり遂げました。皆さんの学校生活を振り返ると、『チーム後川の絆と団結力』が今学期は一層強まったと感じています。仲間を大切にし、自分の力を出し切って、全員が協力し合い前進する姿は、校訓「自尊・共生・創造」が見事に表されていました。皆さん一人一人が、確実に身も心も大きく成長しました。何事も真剣に考え、悩み、決定し、みんなでアイデアを出し合い、工夫して取り組んできたからこそ、優しく、たくましく立派に成長しました。皆さんのことをとても誇りに思います。後川中学校の皆さんが持っている力・魅力は無限大だなあと改めて感じた2学期でした。

さあ、冬休みが始まりました。いつもより2日短く1月6日に3学期が始まります。家族との時間を大切に、お手伝いや学習時間、規則正しい生活を継続し、充実した休みを過ごしましょう。「冬休みの生活」で自分に合ったプランを立て、計画的にやるべきことに取り組みしましょう。よいお正月を過ごし、笑顔いっぱい1月6日の始業式を迎えましょう。

保護者の皆様、地域の皆様、今年一年大変お世話になりました。本校の教育活動へのご支援・ご協力いつもありがとうございます。来る年もどうぞよろしくお願い致します。

人権集会・参観日

12/12には全学年で「人権の大切さ」を考えました。協力・仲良く・誰もが楽しく居心地がよい学校をめざして、自分たちができることを発表し合いました。その後、SC八木先生から、仲間づくりの活動を教えてもらい、楽しく活動しました。相手の動作をまねしたり、チームに分かれてゴールをめざしたり、相手やチームメイトを信頼することの大切さをゲームを通して学びました。

また、午後には保護者の皆様、面談にご参加いただきありがとうございました。



受賞おめでとうございます！

第66回高知県青少年読書感想文 郡入選

- 1年 横山 仁美さん
「かがみの孤城」を読んで
渡邊 煌野さん
「ホイッパーウィル川の伝説」を読んで
- 2年 橋本 遥さん
「僕と死神の七日間」を読んで
- 3年 門田 来実さん
「ありがとうを伝える大切さ」
戸田 瑞希さん
「私の未来と重ね合わせて」